

形成外科コース

研修内容・目標

年次	修得すべき手技や目標
1・2年次 (卒後3・4年目)	形成外科的診察法、記録法 形成外科的基本手技(皮膚縫合、植皮、皮弁など) 形成外科患者の手術前後の全身管理 外傷患者の初期治療(顔面外傷、熱傷) ケロイドの治療 皮膚良性腫瘍の手術治療 創傷治癒と外用剤の基礎知識(熱傷、難治性潰瘍、褥瘡) 救急科とのチーム医療の実践 学会発表
3年次～ (卒後5年目～)	顔面外傷(骨折)の診断と手術治療(観血的整復等) 瘢痕・瘢痕拘縮の手術治療 唇顎口蓋裂、耳介先天異常の診断と手術治療 手足の先天異常の手術治療 皮膚悪性腫瘍の手術治療 熱傷の手術治療 難治性潰瘍の手術治療 外科系各科や小児科とのチーム医療の実践 学会発表 臨床原著論文の作成

週間予定

	月	火	水	木	金
午前	外来	外来	手術	外来	手術
午後	外来	手術	外来	外来	手術

日本形成外科学会専門医

専門医試験を受けるには「臨床研修2年の後、資格を有する研修施設において通算4年以上の形成外科研修を行うこと。4年以上引き続いて日本形成外科学会正会員であること。」が条件とされている。